

2月27日：国内外の投資家が売りに回り下落

月曜日のベトナム株は下落した。売り圧力は依然として残っており、投資家心理に重しとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は1,021.25ポイントで取引を終えた。前営業日比で18.31ポイント、1.76%安となった。2022年の12月30日以来の安値となった。

多くの銘柄が値下がりしており、相場は悲観的になっている。

290銘柄が下落し、60銘柄が上昇した。流動性は改善した。売買代金は9.3兆ドンとなり前営業日比で43.1%増加した。

大型株で構成されるVN30指数も19ポイント(1.84%)安の1,011.46ポイントで取引を終えた。27銘柄が下落しており、中でもマサングループ(MSN)は7%安となった。2銘柄のみが上昇していた。

ハノイ取引所のHNX指数は2.05ポイント(1.95%)安の203.27ポイントで取引を終えた。こちらは2022年12月27日以来の安値。売買代金は1兆ドンほどだった。

両指数とも5営業日連続の下落となった。銀行、製造業、石油ガス、小売といった銘柄が特に大きく下落していた。MSN、ペトロベトナムガス(GAS)、ホアファットグループ(HPG)が下げを牽引していた。

その他、ベティンバンク(CTG)、ベトコムバンク(VCB)、サイゴンビール(SAB)、モバイルワールド(MWG)なども下落していた。

不動産セクターもさえない動きが続いている。ビンググループ関連(VIC,VHM,VRE)は0.24-2.83%安となり、ノブランド不動産(NVL)も5.7%安と大きく下落した。

外国人投資家も売りに転じている。ホーチミン市場では6,581億ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。